



国連広報センター



国連の人道的活動支援チャリティー

TEPCO市民の第九コンサート



L.V. Beethoven

日時・1992年9月23日(水) 2:00PM

会場・八王子市民会館 大ホール

指揮・山岡 重信

独唱・秋山恵美子(ソプラノ)・田中 誠(テノール)

・妻鳥 純子(アルト)・松本 進(バリトン)

管弦楽・八王子フィルハーモニー管弦楽団

合唱・八王子フィルハーモニー合唱団

主催 国連の人道的活動支援「市民の第九コンサート」実行委員会

TEPCO 東京電力多摩支店:八王子フィルハーモニー管弦楽団

後援 国際連合広報センター

八王子市・八王子市教育委員会

八王子フィルハーモニー後援会

ごあいさつ

八王子市長 波多野 重雄

本日、「国連の人的活動支援チャリティー」をテーマにした、市民の第九コンサートが開催されますことに心からお祝いを申し上げます。八王子フィルハーモニーを中心に、地域公募の合唱団を加えた手作りのコンサートに対して、東京電力多摩支店の御支援を賜り、国際連合広報センターの御後援を頂き、有り難く存じます。

素晴らしいゲストの御支援のもと、何ヵ月もの練習と実行委員会の運営が相まって盛り上がったコンサートは、地域文化の成果というべく、また善意の募金は人的国際貢献の面からも誠に意義あることです。5月に国連広報センターミアン・カドルディン所長が記者会見に来庁された折り、親しくお話いたしました。募金のご成功を念じます。

国連広報センター所長 ミアン・カドルディン

この美しい街、八王子市で行われます本日のコンサートに国連を代表して出席できますことを非常に喜んでおります。本日のコンサートはクラシック音楽という偉大な文化を伝えると共に、不幸な境遇にある人々の救済にも寄与しようという豊かな創造力溢れる八王子フィルハーモニーの皆様のご尽力によって実現したものであります。4月に団の代表する2名の方が、国連の人的活動を支援するコンサートを催したいとの構想を持って、当センターに見えました。

私は迷わずに賛同しました。アマチュアオーケストラの立場から、現在世界中で幅広く行われている国連の人的活動を支援する構想は素晴らしく、演奏者と聴衆の皆様のご善意によってコンサートは実現しました。八王子フィルハーモニーは上演に当り、八王子市や市教育委員会、八王子フィルハーモニー後援会から大きな後援を受け、又東京電力多摩支店も上演のため多大な支援をなされました。私は国連を代表して東京電力のご助力に心から感謝申し上げます。

ベートーヴェンの交響曲第九番は永遠の自由と喜びをテーマとしておりますが、この音楽に触れることで、私達は社会で苦しんでいる弱者達に救いの手をさしのべなければならないという普遍的な義務に対する確信を強めることができる筈です。八王子市民の皆様はこの崇高な目的に対する貢献を望んでおられる、私はこのことを大変喜んでおります。

実行委員長 新村 浩

本日は、「TEPCO市民の第九コンサート」にご来場いただき、誠にありがとうございます。

シラーの詩による、第九シンフォニーの讃歌は「歓喜よ（フロイデ）美しき神の如き焔めきよ」と歌われます。本日のコンサートにこの曲が選ばれ、しかも市民のオーケストラとコーラスで演奏されるのは誠に画期的なことで、私達八王子市民にとって永い間の夢が実現し、まさに「フロイデ」という言葉がぴったりです。

このコンサートには、多くの方々の御好意と善意によって実現いたしました。東京電力多摩支店様には地域文化発展の御趣旨により、継続して練習会場を使用させて頂き、又費用の御援助を頂きました。お陰様で、本日は入場料を頂かず、多くの皆様をご招待することができまして、感謝にたえません。

八王子市並びに市教育委員会の御後援も頂き、特に国際連合広報センターの御後援を頂くことによって「国連の人的活動支援チャリティー」に参加させて頂きました。本日御入場の皆様に募金をお願いし、演奏の300余名の募金も添えて、いささかでも国連の人的活動に役立たせていただくことは、誠に有意義なことと存じます。

それでは、郷土が誇る八王子フィルハーモニー、近隣の市民も含めた熱情の合唱団、そして錦上、素晴らしい花を添えて下さるゲストの先生方の素晴らしい演奏をお楽しみ下さい。

東京電力多摩支店長 兒島 伊佐美

平素は、当社事業に対し、格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、当社では、地域とともに歩むエネルギーサービス企業として、少しでも地域のお役に立ちたいと願い、「ふれあい」を合言葉に音楽やスポーツなど、さまざまな活動を通じて地域文化向上のお手伝いをさせていただいております。

今回のコンサートは、八王子フィルハーモニー管弦楽団と、このコンサートのために、市民公募により結成した多摩地区のアマチュア合唱団による手作りの「第九」コンサートです。

音楽を通じ、演奏者と、多摩地区の音楽ファンの方々の、ふれあいの場になっていただければ幸いに存じます。

尚、このコンサートを開催するにあたり、八王子市ならびに八王子市教育委員会、国際連合広報センター、他多数の方々のご協力をいただいたことに対し、この紙面をお借りし、厚くお礼申し上げます。

八王子フィルハーモニー後援会会長 多田 恵行

皆様、ようこそお出で下さいました。このコンサートは多くの方々の御好意によって実現したものです。東京電力多摩支店の御援助は、地域文化振興の御趣旨をもって、万仲前支店長から兒島支店長へと引き継がれ、練習会場の使用と費用の御援助を頂き恐縮しております。八王子市並びに市教育委員会の御後援も有り難く、又国際連合広報センターの御後援も「国連の人的活動支援チャリティー」実現の源となりました。八王子フィルハーモニーも、間もなく満10年を迎えようとしておりますが、今回公募された合唱団とは今後も共演の機会を設けて、益々地域との交流を拡げ、市民文化の進展に尽くしてくれると期待してやみません。今後とも皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

%%指揮者・独唱者%%

指揮



山岡 重信

早稲田大学理工学部卒業。ヴィオラをW. カルボーニ、作曲を小船幸次郎、指揮を齋藤秀雄/岩城宏之の諸氏に師事。ヴィオラ奏者として読売日響に参加。第1回民音指揮者コンクール第2位入賞、1968年に日本音楽舞踊批評家賞を受賞。藤原歌劇団副指揮者、読響/札響/都響/群響等の指揮者を務める。1976年より文化庁派遣海外研修員として、ベルリン/ザルツブルグ/ウィーンで研鑽を積む。また早稲田大学交響楽団を率いて、カラヤン財団主催・第5回国際青少年オーケストラ大会で優勝し話題を呼んだ。八王子市に在住され、八王子フィルへの客演は本演奏会が最初である。

ソプラノ



秋山 恵美子

国立音楽大学卒業・同大学院修了。伊田栄子/西内静/ゲルハルト・ヒッシュ諸氏に師事。第19回文化放送音楽賞受賞。第42回音楽コンクール第2位入賞。「夕鶴」で団伊久磨氏の指揮で「つう」を歌い代表的持ち役となる。その他「黒船」「椿姫」や「魔笛」「魔弾の射手」「フィガロの結婚」等オペラで好評を博す。またオペレッタやミュージカルでも幅広い音楽感覚で活躍。放送でもNHK/FMリサイタル、名曲アルバム、題名のない音楽会などにも出演。本日の第九に続き、9月26日/新宿文化センターで「こうもり」に出演する。二期会会員。

アルト



妻鳥 純子

大分県立芸術短大卒業。東京芸術大学音楽科卒業・同大学院終了。第42回日本音楽コンクール第3位、海外派遣コンクール松下賞受賞。ミュンヘン音楽大学留学。藤原武/首藤迪子/ロドルフォ・リッチ、中山悌一/フランツ・ミクサ/ヘルタ・テッパーの諸氏に師事。「修道女アンジェリカ」「サルタン王」「ヴァルキューレ」「神々の黄昏」等から「サウンド・オブ・ミュージック」等のミュージカルまで幅広く活躍。「第九」「メサイア」などのコンサートや、ドイツリード中心のプログラムでリサイタルを行う。二期会会員。

テノール



田中 誠

国立音楽大学卒業・同大学院終了。伯田好史/平野忠彦/渡辺誠の諸氏に師事。1980年、指揮者オットマール・スウィートナー総監督のヘンデル「アチスとガラティア」に抜擢されてデビュー。「コシ・ファントウツテ」「ドン・ジョバンニ」「魔笛」「後宮からの誘拐」「カルメン」「秘密の結婚」「魔弾の射手」「蝶々夫人」「ヴォツェック」等で好評を得る。「第九」「レクイエム(モーツァルト)」「森の歌(ショスタコビッチ)」「交響曲第二番(スクリャービン)」等の独唱者としても活躍。二期会会員。国立音楽大学音楽研究所研究員。

バリトン



松本 進

国立音楽大学卒業・同大学院オペラ科修了。野崎靖智/平野忠彦、中山悌一の諸氏に師事。1981年「ニュールンベルグのマイスタージンガー」のザックスに急遽代役で出演しデビュー。その功績により、第9回ウイナーワールド・オペラ賞(現グローオペラ賞)を受賞。

1982年より文化庁在外研修員として渡澳し、リリー・コラー女史に師事。「魔笛」「セヴィリアの理髪師」「フィガロの結婚」「スペードの女王」「人買い太郎」等で主要な役を演ずる。その他コンサートで独唱者として活躍。二期会会員。



ミアン・カドルディン氏
Mr. Mian Qadrud-Din



実行委員長
新村 浩

顧問：兒島伊佐美、山岡 重信
多田 恵行
委員長：新村 浩
副委員長：内藤 武彦、広兼 正明
事務局：白井幸四郎、石井 光
同 会計：川口 秀雄、立川富美代
村山 博昭
演奏委員：木村 宏、伊藤 洋
五十嵐 淳、白応 民雄

管弦楽
合唱 指導者

管弦楽指導

合唱指導

ドイツ語発音指導

ピアノ伴奏

木村 宏・五十嵐 淳・R.KELLER・藤井 範子

プログラムノート

本日の演奏会では、日本古来の音楽「雅楽」と近代の西洋で発達した「交響曲」という二つの対照的な音楽を演奏します。

山岡重信編曲 越天楽(えてんらく)

雅楽は、5世紀頃から8世紀頃にかけて、中国をはじめ他のアジア諸国から伝わってきた音楽と、日本に古くからあった音楽が融合し日本化したもので、奈良・平安時代には貴族社会で大流行しました。雅楽は、奈良・平安の時代から今日に至るまでの千何百年もの間、宮中や神社・寺院の楽人(がくじん)たちによって受け継がれてきましたが、今日では宮内庁の楽部の人達や、その他の研究グループの人達が演奏する以外はあまり盛んではありません。

西洋音楽より遙かに永い歴史を持ち、しかも美しい日本の音楽がこのまま廃れてしまってもいいものなのでしょうか？現代は、西洋音楽に毒され過ぎていると言っては言いすぎでしょうか？

「越天楽」の管弦楽版は近衛秀麿の編曲が有名ですが、本日は指揮をしていただいている山岡重信先生の編曲でお聴きいただきます。

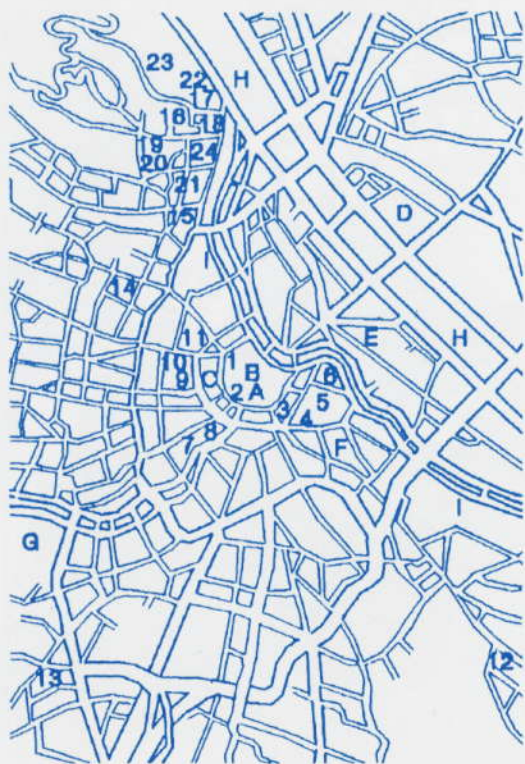
ベートーヴェン 交響曲第9番二短調、作品125「合唱」

いまさら説明の必要もないほどに有名な「第九」です。年末の日本での第九フィーバーぶりにはやり過ぎの感を禁じ得ませんが、日本人が第九を本当に好んでいるということは確かなようです。この日本独特の年末行事も最近ではヨーロッパが逆輸入し、ベートーヴェンゆかりの地、音楽の都ウィーンでは毎年大晦日にコンツェルトハウスでウィーン交響楽団が第九を演奏しています。

第九というと終楽章の合唱ばかりに感心が奪われがちです。しかし、第一楽章の緊張感や第二楽章でのティンパニの大活躍も特徴的で、心惹かれる音楽です。そして、第三楽章はまさに天国に昇らんばかりの心地よい音楽ではありませんか。

本日は、八王子フィルハーモニー管弦楽団と、この演奏会のために結成されたアマチュア合唱団・八王子フィルハーモニー合唱団との共演です。最後までお楽しみください。

(文責：片野)



ベートーヴェンは、終焉の地となるウィーンとその周辺で、35年の間になんと79回も引っ越しをしています。このため、ウィーンには1度の旅行では回り切れないほどベートーヴェン関連の史跡があります。その一部を地図にしてみました。あまり正確な図ではありませんが、旅行に行かれるときなどの参考にしていただければ幸いです。観光地図と見比べていただければおおよその位置はわかると思います（史跡の住所を調べ、この地図で見当をつけてから詳細な地図で探すと目的の場所をみつけやすいでしょう）。

本日の公演に特に関連深いのは

4. 1823-24年 第九交響曲を完成した家
D. UNO-City (国連都市) です。

1. バスクアラティハウス 1804-15年、繰り返し何度か住んだ家「運命」などを作曲
 2. ロボコヴィッツ宮 1807年「英雄」の非公開初演
 3. ベートーヴェン記念像
 4. 1823-24年 第九交響曲を完成した家
 5. 1817年の住居があった
 6. ラズモフスキー宮 サロンでいろいろな演奏会が開かれた
 7. 1822/10-1823/5 までの住居 現在はベートーヴェンの名を冠したレストラン
 8. アン・デア・ウィーン劇場
 9. 1819-20年の冬「ミサ・ソレムニス」の一部を作曲
 10. 三位一体教会 1827年3月29日、ベートーヴェンの葬儀が行われた
 11. 1827年3月26日、ベートーヴェンが死亡した家
 12. 中央墓地、ベートーヴェンの墓
 13. 1823年の住居があった
 14. シューベルト公園、最初の墓
 15. エロイカハウス 1803年「英雄」書いた住居
 16. ハイリゲンシュタットの遺書の家
 17. 1817年と24年、夏の住居
 18. 1817年の住居
 19. 1808年グリルバルツァーと住んでいた家「田園」を作曲
 21. 1822年の住居
 20. 1815年、チェロソナタ作品102を作曲
 22. ベートーヴェンの小径
 23. 小径の途中にある「ベートーヴェンの憩い」といわれる場所 胸像がある
 24. ベートーヴェンの散歩姿の記念像
- A. ウィーン国立歌劇場 B. シュテファン教会 C. 王宮 (ハプスブルク家の本宮殿)
D. UNO-City (国連都市) E. プラター公園 (映画『第三の男』に出てくる大観覧車)
F. ベルヴェデーレ宮殿 G. シェーンブルン宮殿 マリー・アントワネットが生まれた
H. ドナウ河 I. ドナウ運河

八王子フィルハーモニー管弦楽団と八王子フィルハーモニー合唱団

・八王子フィルハーモニー管弦楽団は1983年11月、市民の有志により設立されたアマチュア・オーケストラで、八王子及び近隣の市民（中学生から高校・大学生・社会人男女そして高齢者まで）の幅広い年齢層約70名で組織されており、今日まで満9年に近く、定期演奏会11回を中心に、地域的な演奏会（学校コンサート、駅コンサート）等、合わせて40回にも及び、平成元年2月の「大喪の礼」での追悼演奏もNHKTVに放送され話題を呼びました。

・プロとの共演も「フルートとボーカル：神崎愛（日野市民オーケストラと合同）」「ヴァイオリン：千住真理子」「ピアノ：神谷郁代」「ピアノ：伊藤恵」の先生方と、貴重な経験を積みました。

・今回の「第九」には、山岡重信・秋山恵美子・妻鳥純子・田中誠・松山進・諸先生のご好意で共演が実現、合唱団の協力のもと、八王子フィルハーモニー発団以来の念願だった「第九（全曲演奏）」を市民の皆さんにご披露できるのは本当に嬉しいことです。

・市民の合唱団との共演も「ニューイヤー」「広がれ歌の輪」に続き3回目になりますが、「第九」を機に八王子フィルハーモニー合唱団（立川富美代団長）を組織しました。「第九」に参集された方が多いと思いますが、オーケストラとの共演は楽しいもの、幅広くいろいろな曲で共演の機会を設けていきたいと願っております。

・今回のコンサートに寄せられた東京電力多摩支店のご支援、国連広報センター・八王子市・同教育委員会広報課・新聞各社・八王子フィルハーモニー後援会のご後援に感謝申し上げますと共に、多くの方々のチャリティーに私共団員の募金も添えて国連人道問題局に寄託できることに、演奏活動を通して人道的な連帯感をもつことの意義を覚えるものです。皆様、本当にありがとうございました。



TEPCO・INFOMATION

東京電力多摩支店では、春と秋の年2回、多摩地区の大学生による「TEPCO多摩大学音楽祭」を開催しています。

80校もの大学の集まる街・多摩 このキャンパスには、それぞれ活動している、たくさんの音楽サークルがあります。

この音楽祭は、音楽を通じ、お客さまとのふれあいの場を深めることを目的として平成2年6月にスタートしました。

第6回については、12月5日(土)17時(予定)より八王子市民会館にて、開催いたします。今回も、企画・運営・舞台・照明・司会とすべて学生のみなさんの手作りによるものです。

是非ご来場いただき、若さとパワーを秘めた熱気溢れる演奏をご観賞いただければ幸いです。



ジャンル……ピックバンドを中心としたスタンダードジャズ。

【お問い合わせ先】東京電力(株)多摩支店
営業部 営業企画グループ
大学音楽祭事務局迄

☎(0426)42-5201